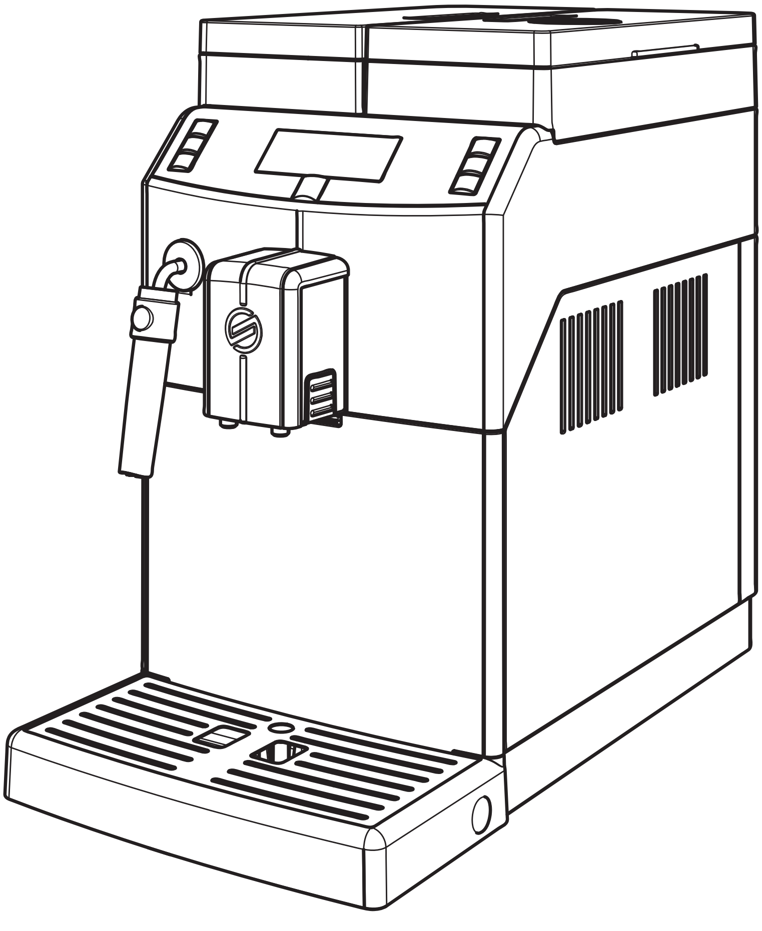
Lirika
Plus

Type SUP041E



リリカ・プラス

PHILIPS

Saeco

目　次

1 一般事項 …… 3
1.1 このマシンについて…… 3
1.2 本取扱説明書の利用方法…… 3
1.3 製造番号について…… 4

2 注意事項 …… 5

3 マシン各部の名称 …… 8

4 マシン操作方法 …… 9
4.1 設置について…… 9
4.2 梱包物の廃棄…… 9
4.3 水タンクへ水の補給…… 9
4.4 コーヒー豆の補充…… 9
4.5 電源コードの接続…… 10
4.6 電源スイッチを入れる…… 10
4.7 初めての使用もしくは長期間使用していなかった場合…… 10
4.8 マシンの立ち上げ…… 10
4.9 立ち上げ時の自動洗浄…… 10
4.10 スタンバイモード（節電機能）…… 10
4.11 抽出口高さの調整 …… 11
4.12 インテンザ 浄水フィルター…… 11
4.13 一杯あたりのコーヒー豆量の設定 …… 12
4.14 コーヒーの抽出 …… 13
4.15 コーヒー量の調整・設定 …… 13
4.16 コーヒーカスを捨てる …… 14
4.17 コーヒーカスを捨てる …… 15
4.18 スチーム機能 …… 16
4.19 ミルクフォーマー …… 16
4.20 給湯機能 …… 16
4.21 コーヒーグラインダーの挽き粗さ調整 … 17

5 ユーザー機能 …… 18
5.1 プログラムの各機能…… 18

6 定期洗浄とメンテナンス …… 19
6.1 パナレロの清掃…… 19
6.2 カス容器、排水トレイの洗浄…… 19
6.3 ブルーイングユニットの洗浄…… 20
6.4 インテンザフィルターの交換…… 23
6.5 グラインダーの洗浄…… 23
6.6 除石灰作業…… 23
6.7 メンテナンス一覧表…… 26

7 マシンの表示内容 …… 27

8 豆に関して …… 29

9 メンテナンス品一覧表 …… 30
9.1 同梱品リスト…… 30
9.2 オプション品…… 30

10 メンテナンスモード…… 31
10.1 メンテナンスモードへのアクセス …… 31
10.2 プログラム設定ボタンと機能 …… 31
10.3 メンテナンスメニュー …… 31

11 マシンを廃棄する場合…… 32

12 トラブルシューティング…… 33

13 保証とアフターサービス…… 34

14 スペックシート…… 35

1. 一般事項

1.1 このマシンについて

1. コーヒーもしくはエスプレッソをコーヒー豆を使用して抽出します。
2. コーヒー抽出はお湯を使用し、スチーム／給湯パイプを利用します。
3. ミルク系メニューは付属のパナレロもしくはミルクフォーマー（オプション）を使用します。

   モダンなデザインは小規模なオフィス、店舗の為に省スペースな設計を致しました。

以下に記載した原因による、損傷には責任を負いかねます。
- **本来の目的に反する間違った使用による場合**
- **修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合**
- **電源コードを改ざんされた場合**
- **マシンのどこかを改ざんされた場合**
- **純正ではない部品や付属部品を使用された場合**
- **除石灰作業を行わなかった場合やマシンを摂氏０度以下での環境での使用、もしくは保管された場合**
- **屋外での使用**

これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承下さい。

使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかり守ってください。

1.2　本取扱説明書の利用方法

本取扱説明書は安全な場所に保管してください。そして本エスプレッソマシンを使用される全ての方が利用できるようにしてください。

さらに詳しい情報については弊社サービスセンター（TEL：048-949-2888）にお問い合わせを下さい。

後日の参照のために、本取扱説明書は大切に保管してください。

様々な種類の危険マークは誤った使用で生じる危害や損害の程度で区分し、表示をし説明しています。守ってください。

電源コードの取扱

- 電源コードによるねじれ、引っかかりなどを防止するため、短い電源コードを使用しています。
- 延長コードのご利用は可能ですが、ご注意の上、ご利用してください。延長コードをご使用の際は以下の事項にご注意ください。

a.延長コードに記載されている定格電圧が、マシンの定格電圧より大きいものをご利用ください。

b.延長コードは引っ掛けたり、子供が引っ張る危険を避けるため、カウンターやテーブルより垂らさないで下さい。

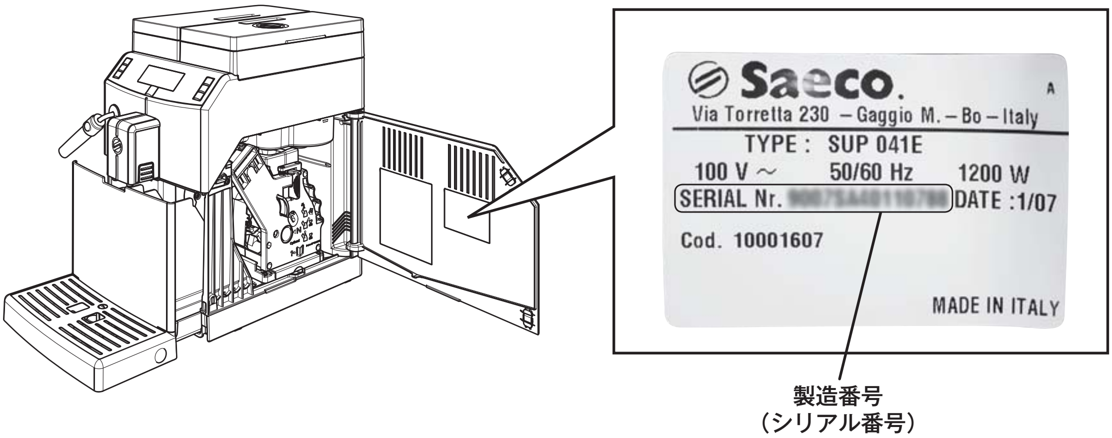
c.本製品がアース付きである場合、アース付きの延長コードを使用してください。マルチソケットは使用しないでください。

このマークはインフォメーションとして詳しい情報を記載しております。
最大のパフォーマンスを得るために説明をしております。

1.3 製造番号について

製造番号について

本体サービスドア内側に製造番号（シリアル番号）のシールを貼付しています。



シールは絶対に剥がさないでください。これらの表示内容は全て、弊社サービスセンターにメンテナンスをご依頼される際に必要となる重要な情報です。

詳しくは、弊社サービスセンターにお問い合わせをください。

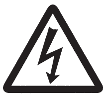
TEL.048－949－2888

2. 注意事項

ご使用の前に、この「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

●本製品のご使用前に、取扱説明書や箱の中の印刷物を必ずお読みください。
●取扱説明書は、必要なときにいつでも見られるよう、分かりやすい場所に保管しておいてください。
●ご不明な点は、弊社の三郷センター（TEL：048-949-2888）へご連絡ください。

各絵表示は以下を示しています。

	△記号は、警告・注意を示します。 △記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	⃠記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

電源は「15Ａ　125V」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。またタコ足配線はしないでください。
タコ足配線部が異常発熱したときに火災の恐れがあります。

電源は交流100Ｖ　50／60Hzをご使用ください。
交流100V以外の電源を使用されますと火災の恐れがあります。

アース線を必ず確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込み、抜く時は電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って、抜いてください。
感電やショート、発煙、発火、またケガをする恐れがあります。

⚠警告

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。
火災の原因となります。

電源プラグ、コードを破損するようなことはしないでください。火気の近くでは使用しないでください。　変異・故障の原因となります。

電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、また無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりなど、傷つけないようにしてください。
コードが破損をし、感電や火災の原因となります。

電源コード、プラグ、マシン本体などを水につけたり、水をかけたりしないでください。　ショート・漏電の恐れがあります。

電源コードや、差込プラグが痛んだり、コンセントの差込がゆるい時は、使用しないでください。　ショート・漏電の恐れがあります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、中のパーツに触れないでください。火災・感電・ケガの原因となります。

お子様だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
ヤケド、ケガの原因となります。

本製品を使用中は、手や電気コードがコーヒー抽出口やスチームノズル、カップウォーマー等、熱を帯びる部分に触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。

パナレロ（スチーム・給湯ノズル）を使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。
ヤケドや破損の原因となります。

製造元が推奨するもの以外の付属機器のご使用は、決してしないでください。
火災、感電、障害の危険を及ぼす可能性があります。

本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。
火災、故障の原因となります。

万が一、異常が発生した場合には、直ちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

不安定な場所には設置をしないでください。
破損やヤケドの原因となります。

水や火気の近くでは使用しないでください。また、壁や家具の近くで使用しないでください。故障・破損の原因となります。また壁や家具を傷め、変色変形の原因となります。

水タンクには、温かいもしくは熱いお湯を入れないでください。
製品が正常に稼働しない恐れがあります。

使用時以外や、クリーニングの前には、コンセントからプラグを外してください。また、パーツの取り付け、取り外し、クリーニングは製品が冷めてから行ってください。　ヤケドの原因となります。

洗剤をご利用の場合は、台所用洗剤を使用してください。クレンザーなどの研磨剤の入った洗剤は避けてください。水に浸した柔らかな布でクリーニングしてください。　破損の原因となります。

マシン内部に付着した石灰質（スケール）の除去のために、除石灰剤を用いた除石灰作業を、定期的に行ってください。　故障の原因となります。

使用後は、必ずお手入れをしてください。（本文22ページを参照ください）
故障の原因となります。

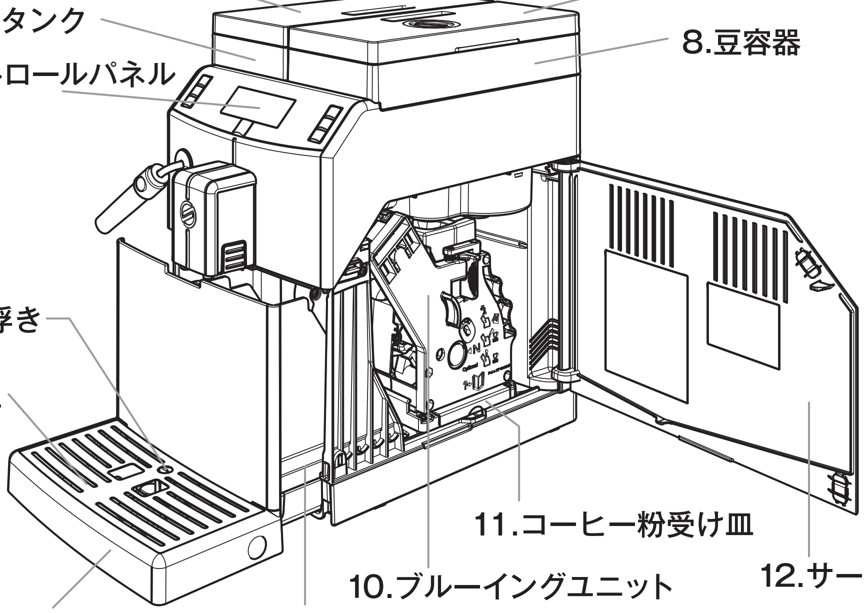
電源コードをテーブルやカウンターの縁から垂らしたり、製品の熱を帯びる部分に触れないようにしてください。　ケガ、破損の原因になります。

屋外では使用しないでください。

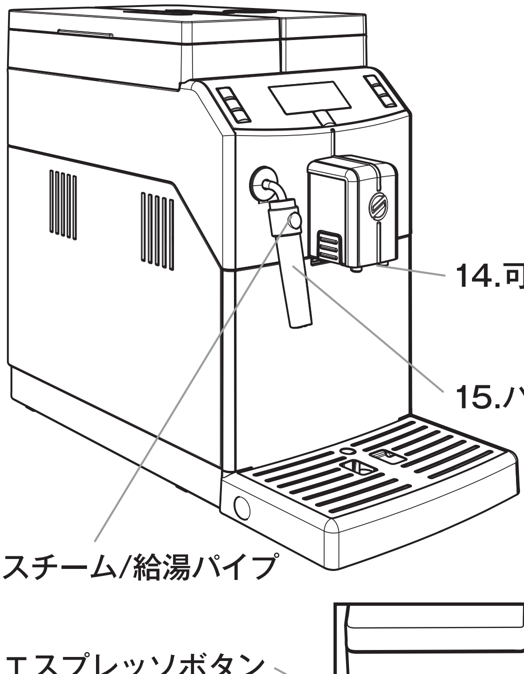
高温ガス、電気コンロの上や近く、熱したオーブンなどの近くへ置かないでください。

本製品には衝撃を与えないようにしてください。　故障の原因となります。

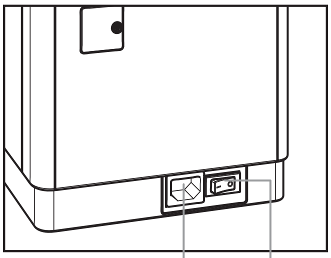
3. マシン各部の名称



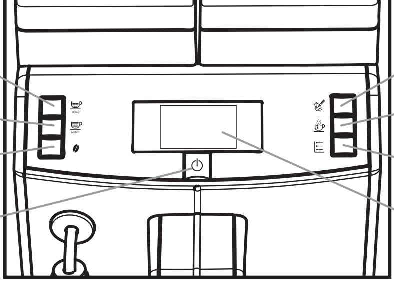
1.水容器フタ
2.水タンク
3.コントロールパネル
4.排水浮き
5.目皿
6.排水トレイ
7.豆容器フタ
8.豆容器
9.カス容器
10.ブルーイングユニット
11.コーヒー粉受け皿
12.サービスドア



13.スチーム/給湯パイプ
14.可動抽出口
15.パナレロ



16.電源コードソケット
17.電源スイッチ



18.エスプレッソボタン
19.コーヒーボタン
20.豆量設定ボタン
21.電源・スタンバイボタン
22.スチームボタン
23.給湯ボタン
24.プログラムボタン
25.ディスプレイ

4. マシン操作方法

マシンのご使用の前にコーヒー豆、水が補給されているか又、正しく清掃されているか確認をして下さい。

4.1 設置について

マシンは屋外や水のかかる場所、蒸気が発生する近くには設置しないで下さい。干渉を生成する電気機械類や電波を発生する機械類の磁場はマシンの電子制御を誤動作させる可能性があります。設置時に確認をして下さい。およそ 0℃の温度環境では、水回路を含む内部の部品は凍結し故障の原因となります。これらの条件下でマシンを使用しないでください。

マシンの動作を確実にする為、以下の条件、環境にてご使用下さい。

・室温：10℃～ 40℃以内

・湿度：95% 以下

・設置面は、最大 2°の勾配で、平らで且つ安定している設置場所

・設置場所は、適切に明るく、通気と衛生的な場所。

コンセントは必ず誰もが分かる位置にある事を確認して下さい。必要があればいつでも電源コードを抜き差しが出来る位置に設置をして下さい。

右記のイラストは設置に適したスペースになります。

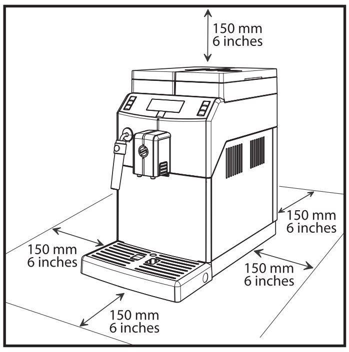
マシンの開梱に際して

①開梱前に製品の箱に傷やへこみが無いことを確認して下さい。

②開梱し、各付属品が正しく同梱されているか確認して下さい。

リストは 30ページに記載されてます。

③保証書の確認…販売店の押印、日付など



4.2 梱包物の廃棄

地域の行政が定める条例に基づいて梱包物を廃棄して下さい。

尚、可能であれば後々のメンテナンスの際に利用出来るように保管頂く事を推奨致します。

4.3 水タンクへ水の補給

電源を入れる前に水を水タンクの MAX 表示の位置まで入れて下さい。

初めてマシンを使用する際は、水タンクの洗浄をお願いします。

使用する水は必ず新鮮な水を使用下さい。お湯や炭酸水、他の液体の使用は故障の原因となりますので絶対におやめ下さい。このような場合は、保証期間中であっても保証対象外となります。

4.4 コーヒー豆の補充

電源を入れる前にコーヒー豆を豆容器に補充をして下さい。

初めて使用する際は、豆容器を柔らかい布等で清掃をして下さい。

ローストされた豆以外、パウダーコーヒー(挽き豆)、インスタントコーヒー、フレーバーコーヒー等の使用は故障の原因となりますので、絶対におやめ下さい。このような場合は、保証期間中であっても保証対象外となります。

4.5 電源コードの接続

付属の電源コードを電源コードソケット（16）に確実に取り付けて下さい。場所はマシンの裏面にあります。次にコンセントに電源コードを差し込みます。

使用する電源は交流（AC）100Vのコンセントでタコ足配線などは避けて下さい。

4.6 電源スイッチを入れる

電源スイッチ（17）をON（I 側）にします。

4.7 初めての使用もしくは長期間使用していなかった場合

マシンは以下の条件の場合、最初に水の充填作業を行います。

a）初めてのご使用

b）長期間未使用（おおよそ２週間以上）

4.8 マシンの立ち上げ

コントロールパネル真ん中の "⏻" 電源ボタン(21)を押して下さい。待機状態から立ち上げが開始されます。

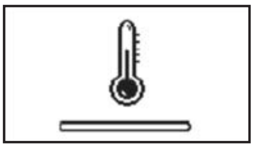
4.9 立ち上げ時の自動洗浄

1 コーヒーカップなどをコーヒー抽出口下に置いてください。

マシンは自動的に水回路に水の充填作業を開始します。

イエロー表示

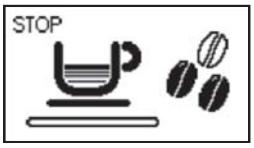
2 立ち上げを開始します。



イエロー表示

3 マシンが立ち上げ完了するとリンス（すすぎ）作業が開始されます。

イエロー表示



グリーン表示

ℹ リンスの進行がインジケータに表示されます。
リンス中は抽出口より少量の水が排出されます。作業完了するまで少々お待ち下さい。

ℹ このリンスサイクルは "☕" STOP ボタン（18）を押すことにより中止出来ます。ディスプレイにコーヒーカップの表示が出れば抽出可能です。

ℹ コーヒーボタンを押して、コーヒーを２～３杯抽出してください。

4.10 スタンバイモード（節電機能）

このマシンは節電機能が搭載されています。

コーヒー及び給湯、スチームを最後に使用してから、設定した時間内に全く操作しなかった場合、自動的にスタンバイモード（節電状態）になります。

ℹ スタンバイモードの時間設定は、15 分、30分、60分、180分（初期設定値）の選択が出来ます。
設定方法は、18 ページを参照してください。

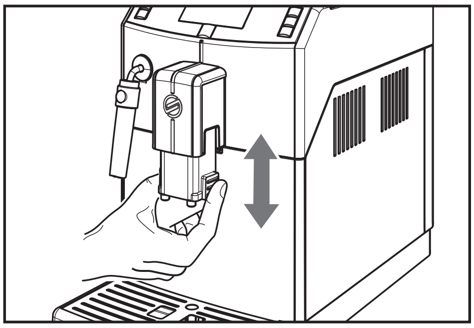
スタンバイモードを解除するには、“⏻” 電源ボタン（21）を押下してください。

立ち上げのアイコンが表示され、ボイラーが適温になり次第、コーヒー抽出が可能になります。

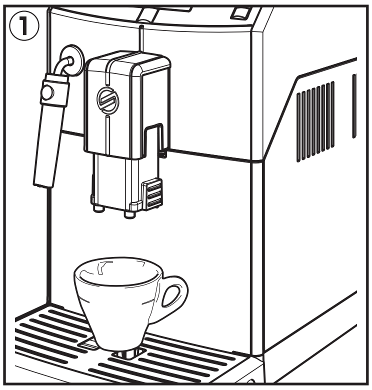
（ボイラーが冷えている場合、リンス作業が実行されます）

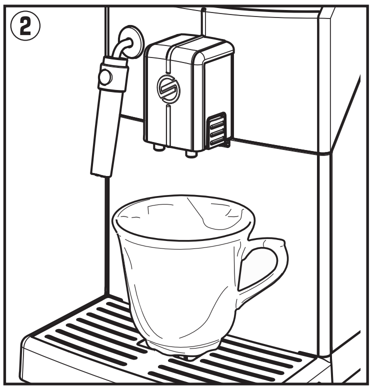
4.11 抽出口高さの調整

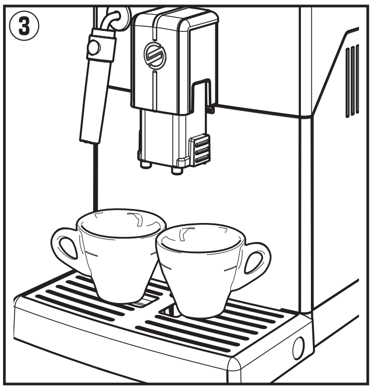
下図のとおり抽出口をカップの高さに応じて上下させる事が可能です。



小さいカップの場合、”①”のように抽出口を下げてください。大きいカップの場合、② のように抽出口を上げてご使用ください。又、２杯どり（カップ２個）は以下の”③” のようにカップをセットしてください。







4.12 インテンザ　浄水フィルター（オプション品）

水質は良いエスプレッソのための重要な要素です。プロらしくコーヒーを淹れる事が出来る理由の１つです。

ブリタ社の高度な技術は石灰の付着浸漬を効果的に防ぎマシン内部の保護に役立ちます。

又、浄水された水は香り高いアロマをコーヒーにもたらします。

1 インテンザを箱から取り出し、フィルターのダイヤルを回転させて△の位置にA, B又はCに合わせて下さい。

（出荷時の初期設定は「（軟水）」です。）

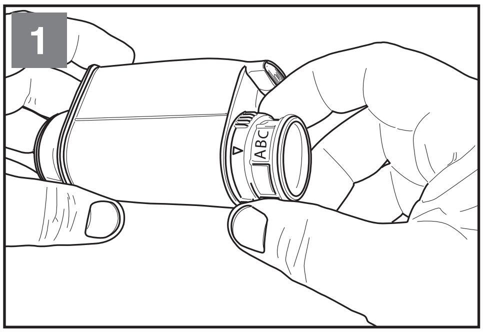
数値と A, B, C の値は下記を参照して下さい。

４（高硬水）…C

３（中硬水）…B

２（低硬水）…A

１（軟水）……A



2 インテンザを逆さ（フィルターを上）にして、垂直方向にインテンザを水に浸してください。
インテンザの側面を水中で軽く押して空気を抜いてください。

3 マシンから水タンクを取り外し水が入っている場合は、捨てて下さい。
次に、水タンク内底に白色のフィルターを取り外して下さい。
（手で簡単に外れます）

取り外したフィルターは捨てずに保管してください。

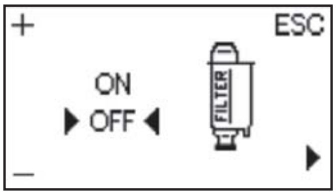
4 水タンクにインテンザを取り付けます。
真上からしっかりマシンに固定されるまで押してください。

5 水タンクに水を補充し、マシンにセットして下さい。

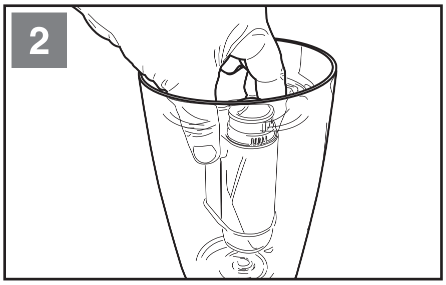
6 メンテナンスモードに入って下さい。
（31ページ 10.1の項を参照）

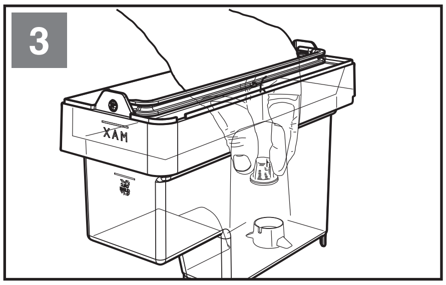
イエロー表示

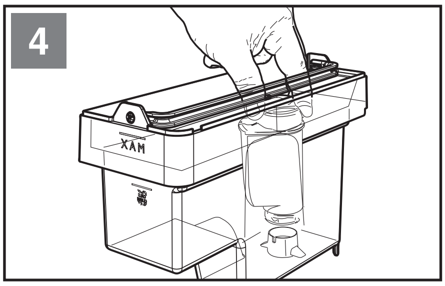
7 “ ” プログラムボタン(24)を下図の画面になるまで押下して下さい。



イエロー表示







8 “ ” ボタン(18)を押下し ON のポジションにし、“ ” プログラムボタン(24)を押下して下さい。

9 “ ” ESC ボタン(22) を押下し、メンテナンスモードを終了します。

10 インテンザを馴染ませるため、給湯パイプより 500cc のお湯を排出して下さい。

11 再び水タンクに水を MAX の位置まで補充して下さい。

マシンがインテンザの交換時期を示します。その際は、必ず交換をして下さい。

4.13 一杯あたりのコーヒー豆量の設定

コーヒー豆量を変更（設定）する事が出来ます。
コントロールパネル内の “ ” 豆量設定ボタン（20）を押下すると、
マイルド→ミディアム→ストロングの順に変更されます。

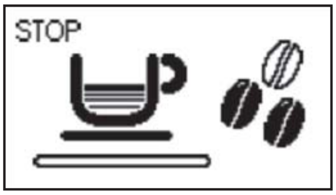
豆量の設定は、最後に抽出した豆量で記憶されます。

豆量ボタン
= マイルド（最低6ｇ）
= ミディアム
= ストロング（最大10g）

グランダーが動作する前に豆量設定を行って下さい。グランダー動作後は変更が出来ません。

4.14 コーヒーの抽出

1 “ ”エスプレッソボタン（18）又はコーヒーボタン（19）を押下するとコーヒーが自動で抽出されます。
ディスプレイのアイコンは 以下のように表示されます。



グリーン表示

エスプレッソボタン又はコーヒーボタンを２回連続して押下すると２杯分のコーヒーが自動で抽出されます。ディスプレイは以下のように表示されます。

グリーン表示

2 蒸らし後抽出口からコーヒーが抽出されます。

3 コーヒーは設定された抽出量に達すると自動的に停止します。

i 抽出を途中で止めたい場合は、" " STOPボタン（18）を押下してください。

i エスプレッソボタンには伝統的なイタリアのテイストが初期設定されています。
お好みに応じて設定を変更することが出来ます。設定の方法は次項になります。

4.15 コーヒー量の調整・設定

“ ”エスプレッソボタン（18）と" " コーヒーボタン（19）それぞれにお好みのコーヒー抽出量の設定が出来　ます。

コーヒー抽出量の設定手順

コーヒーカップをコーヒー抽出口の下に置いて下さい。

1 量設定したいコーヒーボタンをディスプレイに "MEMO" 表示がされるまで押し続けます。

2 "MEMO" 表示がされたらボタンから手を離して下さい。ディスプレイは次の表示になります。

グリーン表示

3 STOP アイコンが表示されると抽出量を記憶させる事が出来ます。設定したいコーヒー量になったら、“ ” ボタン（18）を押下してください。コーヒー抽出が完了し、抽出量が記憶されます。

グリーン表示

次回からはワンタッチで同量のコーヒーが抽出されます。

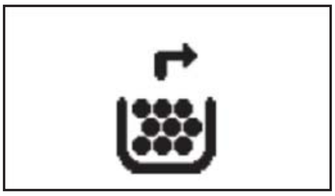
i 給湯の抽出量の設定はできません。

4.16 コーヒーカスを捨てる（アイコン表示あり）

i この操作は必ずマシンの電源が ON の状態で行って下さい。

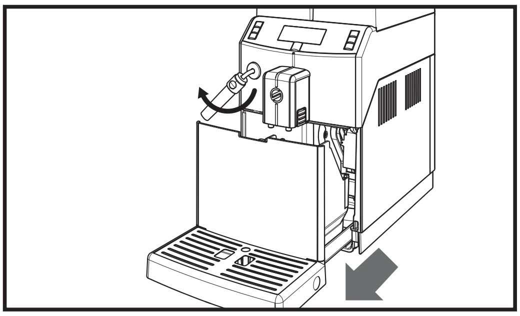
電源が OFF の状態で作業をすると、杯数カウンターはリセットされずアイコン表示は消えません。

カス容器がカスで一杯になった場合、以下のアイコンがディスプレイに表示されます。



赤表示

上記表示がされるとコーヒー抽出は出来なくなります。コーヒーカスを以下の手順で捨てて下さい。

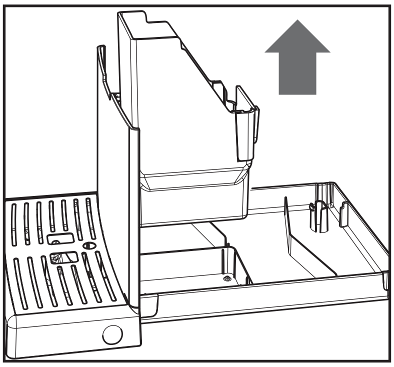


1 確実にコーヒー抽出口を上限まで上げて下さい。（11ページ 4.11の項を参照）

2 パナレロを左方向に回転させて下さい。

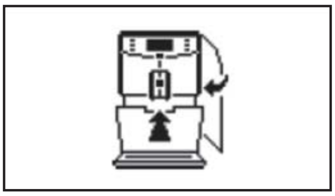
3 排水トレイを手前に引き抜いて下さい。

4 カス容器を排水トレイから取り外し、コーヒーカスを捨てて下さい。

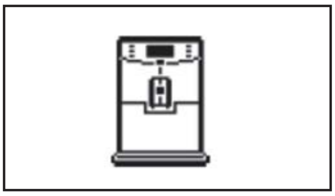


i カス捨てと同時に排水トレーに溜まった水を捨ててください。

5 排水トレイを取り外すとディスプレイに下図のアイコンが交互に表示されます。



赤表示



赤表示

左図の表示は
排水トレイ、カス容器及び
サービスドアを閉めてください

の警告（アラーム）になります。

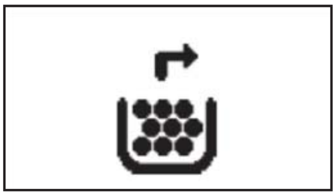
6 排水トレイ、カス容器をマシンにセットし、サービスドアを正しく閉じるとディスプレイは下図の表示になり抽出可能状態になります。

グリーン表示

4.17 コーヒーカスを捨てる（アイコン表示なし）

カス捨てのアイコンが表示される前に、杯数カンウンターのリセットをすることも可能です。

1 コーヒー抽出後に、排水トレイをマシンから取り外すと、ディスプレイに下図の表示が出ます。

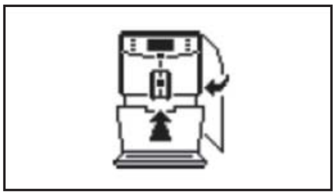


赤表示

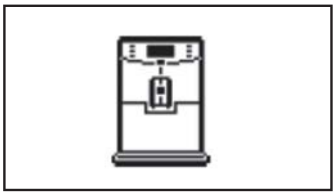
2 コーヒーカスと、排水を捨てて下さい。

排水トレイを取り外すと、５秒後にディスプレイに下図のアイコンが交互に表示されます。

このアイコンが表示されると杯数カウンターのリセットが完了します。



赤表示



赤表示

左図の表示は

排水トレイ、カス容器及び
サービスドアを閉めてください

の警告（アラーム）になります。

3 排水トレイ、カス容器をマシンにセットし、サービスドアを閉めるとディスプレイは下図の表示になりコーヒー抽出可能になります。

グリーン表示

> ⚠ **排水トレイ･カス容器がセットされていませんのアイコンが表示される前に､マシンにセットすると杯数カウンターはリセットされません｡必ず､このアイコンが表示されてから排水トレイとカス容器をマシンにセットしてください｡**

> ⚠ **カス捨て表示をリセットした場合、カス容器にカスが残っていても杯数カウンターは「0」にリセットされていますので、必ずカス容器のカスを捨てて下さい。**
> **捨てるのを忘れた場合は、マシン内部にカスがあふれます。**

4.18 スチーム機能

スチームでミルクやドリンクを温めることができます。

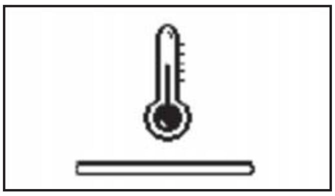
> ⚠ **スチーム初動時は熱湯や高温の蒸気が噴射されます。パナレロやスチームパイプは高温になります。絶対に素手で触らないで下さい。やけどの原因になります。パナレロのプロテクトカバー（ゴム部分）を用い使用して下さい。**

1 冷えたミルクをミルクピッチャーに入れます。（ピッチャーの 1/3 ～ 1/2 程度）

ℹ 質の高いカプチーノを作るために必ず冷えたミルク（5℃程度）を使用してください。
又、乳脂肪分は少なくても 3.5％程度の種類別：牛乳を使用して下さい。

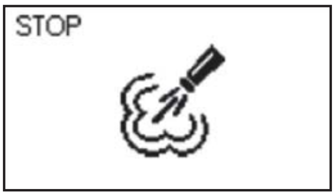
ℹ スチーム機能を使用する前に “ ” ボタン（22）を押してマシン内部に滞留している水を排出します。この作業は数秒行って下さい。スチームを停止する “MEMO” にはボタン（18）を押下して下さい。この作業をすると、ミルクが薄まりにくくなります。

2 ミルクピッチャーにパナレロ先端を差し込み、“ ” ボタン（22）を押して下さい。



イエロー表示

マシンは立ち上げを行います。ディスプレイの表示は
左図アイコン表示になります。



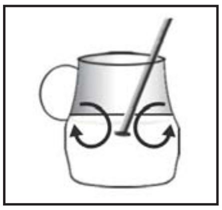
イエロー表示

3 立ち上げ完了後に上図のアイコン表示になり、スチームが出ます。

4 スチームの停止は “MEMO” ボタン（18）を押下してください。

> ⚠ **スチーム使用後は、必ずパナレロの清掃をして下さい。（19 ページ 6.1の項参照）**

ℹ ミルク泡立てのコツ：パナレロはミルクに深く差し込むと空気がミルクに入らず、結果泡立たなくなります。
又、ピッチャー内のミルクが右図のように回転するポイントがあります。
このポイントを見つけて頂くとクリーミィで質の高い泡立ちミルクを作る事が出来ます。



4.19 ミクルフォーマー（オプション品）

リリカ・プラスには専用ミルクフォーマーをパナレロの代りに使えます。詳しい使い方は商品に同梱されている取り扱い説明書を参考にしてください。

4.20 給湯機能

カップを温めたり、茶類などのドリンクをいれることができます。

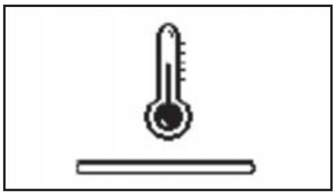
> ⚠ **熱湯や蒸気が噴射されます。パナレロやスチームパイプは高温になります。絶対に素手で触らないで下さい。ヤケドの原因になります。パナレロのプロテクトカバー（ゴム部分）を使用して下さい。**

1 パナレロの下にカップ等を置いて下さい。

2 "♨" 給湯ボタン(23)を押下して下さい。

3 マシンは立ち上げを開始します。

ディスプレイの表示は下図のアイコン表示になります。



イエロー表示

4 ウォームアップ完了後給湯が開始されます。ディスプレイは下図の表示に変わります。

グリーン表示

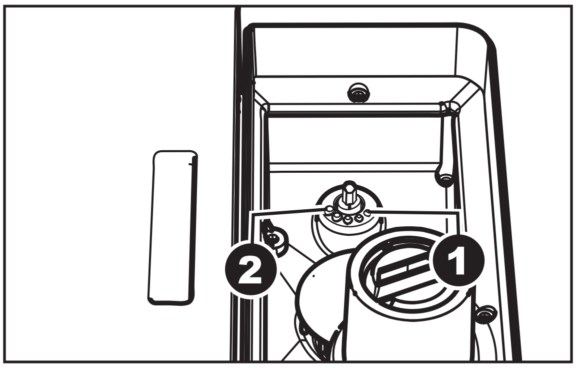
5 給湯を停止するには "MEMO" ボタン(18)を押下して下さい。

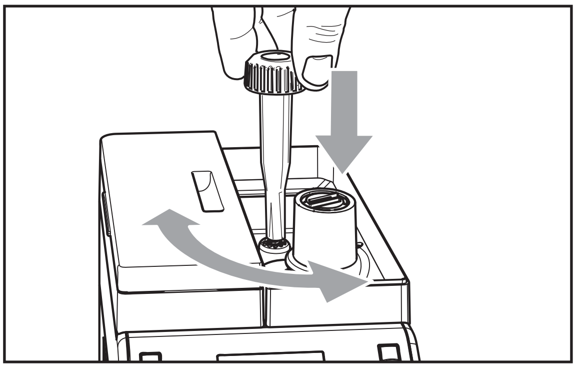
4.21 コーヒーグランダーの挽き粗さ調整

豆容器内の調整ピンを使用して、豆の挽き粗さを調整できます。

コーヒーグランダーの挽き粗さ調整は付属のグラインダー調整キーを使用して行います。(下図参照)

1 付属のグラインダー調整キーで、豆容器内にある調整ピンを下に押しながら1目盛ずつ回して調整します。





挽き粗さは①の方向で細かくなり②の方向に回せば粗くなります。

挽き粗さが細かい(◦が小さい)ほど、味が濃く、粗い(○が大きい)ほど味が薄くなります。

コーヒー豆の種類により、最適な挽き粗さは異なりますので、実際の味を確認しながら調整してください。

調整した後、実際の挽き粗さが変わるのは 3 回目の抽出からになります。

5. ユーザー機能

この機能は、①コーヒー温度調整、②スタンバイ時間調整、③ディスプレイの明るさ調整が可能です。

メンテナンスモードでも調整することが出来ます。

1 “ ” ボタン(24) を押下する事によりプログラムメニューが表示されます。

イエロー表示

各ボタンの機能

“ ” button (18)　(+) 設定値が増加します

“ ” button (20)　(ー) 設定値が減少します

“ ” button (24)　次の項目(▶)に移動又は(OK)ボタン機能

“ ” button (22)　(ESC)キャンセル又はプログラムモードの終了

5.1 プログラムの各機能

コーヒーの温度調整

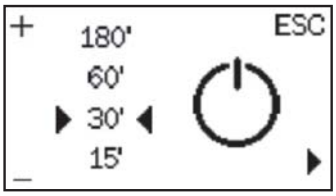
イエロー表示

コーヒー抽出温度を、MAX(高温)、MED(中温)、MIN(低温)の設定が出来ます。

調整は “ ” ボタン(18)と “ ” ボタン(20)押下で変更します。

“ ” OK ボタン(24)を押下して記憶させます。

スタンバイ時間の調整



イエロー表示

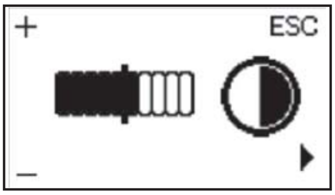
スタンバイモード(節電モード)に入るまでの時間を調整出来ます。

調整は “ ” ボタン(18)と “ ” ボタン(20)押下で変更します。

“ ” OK ボタン(24)を押下して記憶させます。

補足:スタンバイモードとは、コーヒー及び給湯、スチームを最後に使用してから、設定した時間内に全く操作しなかった場合、自動的にスタンバイモード(節電機能)になる機能です。

ディスプレイ(画面)のコントラスト調整



イエロー表示

ディスプレイ(画面)のコントラストの調整が出来ます。

調整は “ ” ボタン(18)と “ ” ボタン(20)押下で変更します。

“ ” OK ボタン(24)を押下して記憶させます。

プログラムモード中に3分間何も操作もしなかった場合、プログラムモードは自動的に終了します。

6. 定期洗浄とメンテナンス

メンテナンスを行う際は、電源コードを抜き、機械が冷えている状態で行って下さい。

6.1 パナレロの清掃

ヤケド防止の為、パナレロの清掃、取り外しは必ず部品が冷えている状態で行って下さい。パナレロ、スチーム / 給湯パイプは高温になります。

毎日の洗浄

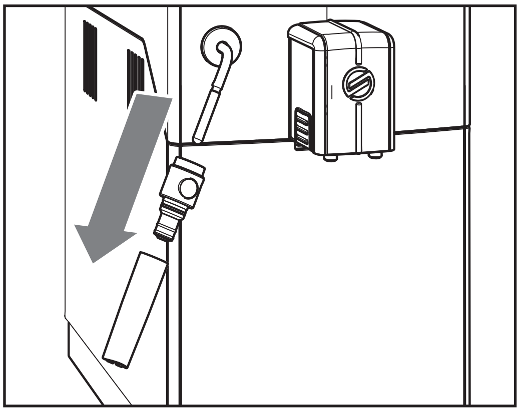
ご使用の都度及び毎日の洗浄は衛生面とミルクの泡立ち品質維持の為に重要です。

パナレロの使用後は、ミルク固着防止の為、柔らかい布でミルクを拭き取り“ ”給湯ボタン（23）を押し、お湯を３～４秒排出してください。

毎週の洗浄

1 パナレロのキャップ部分を取り外し、ぬるま湯で洗浄して下さい。

2 パナレロを取り外し、ぬるま湯の弱アルカリ性の洗剤に漬けて洗浄をして下さい。



6.2 カス容器、及び排水トレイの洗浄

毎日の洗浄

1 カス容器を取り外し洗浄をして下さい。

2 排水トレイを本体から取り外し、排水を捨てた後に排水トレイ全体の洗浄をして下さい。

排水トレイは左に傾けて排水を捨てて下さい。右に傾けて排水を捨てると、すき間から排水がこぼれる場合があります。

電源OFFの状態で、コーヒーカスを取り除いても、杯数カウントはリセットされません。そのため、カス容器にカスが溜まっていなくても、カス捨てのアイコンが表示される場合があります。

毎週の洗浄

1 弱アルカリ洗剤で、洗浄してください。

2 洗浄後、乾かした後にマシンにセットして下さい。

6.3 ブルーイングユニットの洗浄

毎日の洗浄

この作業は毎日行って下さい。

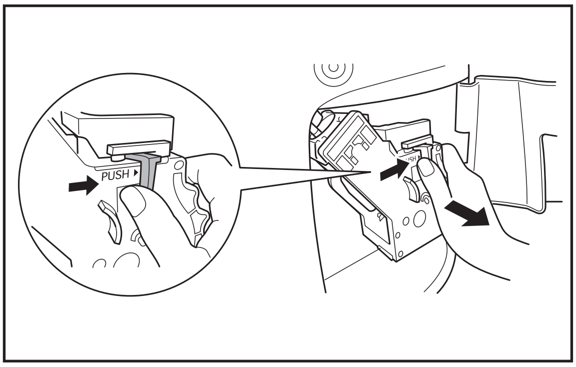
1 マシン本体の電源を切り、電源コードを抜いて下さい。

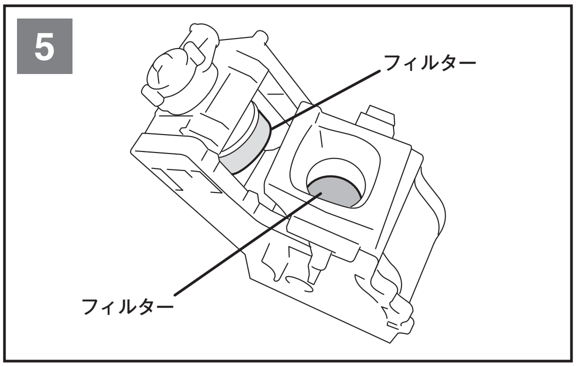
2 排水トレイ（カス容器含む）を取り外して下さい。

3 本体右のサービスドアを開けて下さい。

4 PUSH ボタンを押しながらブルーイングユニットを取り外します。

ブルーイングユニットとマシンをつなぐ部分がコーヒーの油分でくっつきやすいので、取り外す際はブルーイングユニットの左上部に左手を添えてまっすぐに引き出してください。





5 流水でブルーイングユニット全体を濯いで下さい。

特にフィルター（上下）を付属のクリーニングブラシで念入りに洗浄してください。

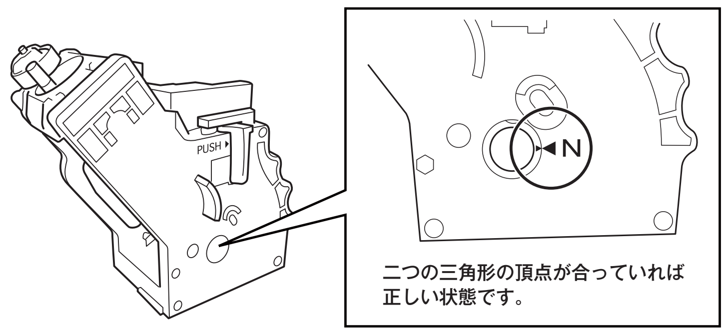
この作業は、お湯や洗剤、食器洗い洗浄機を使用した洗浄は避けて下さい。
内部に塗布されたグリスが流れ落ち、動作不良を起こす場合があります。

6 コーヒー粉受け皿を取り外し、洗浄して下さい。

7 マシン内部の清掃を行って下さい。

8 コーヒー粉受け皿とブルーユニットを元の位置に戻します。

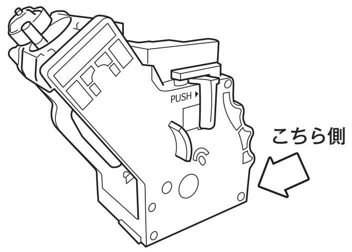
ブルーイングユニットをセットする前の確認事項
ブルーイングユニットの部品が正しい位置にあることを確認して下さい。
間違った位置にあると、マシンにセットできません。

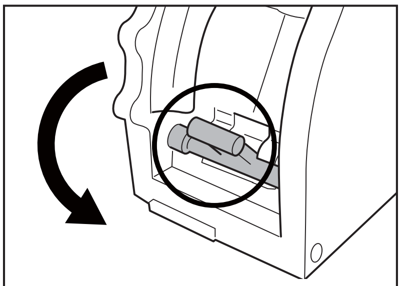


二つの三角形の頂点が合っていれば
正しい状態です。

マークが合わない場合、背面のレバーを下げて下さい。

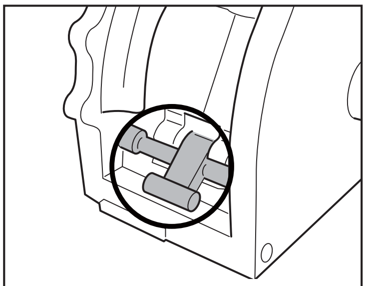
背面のレバー部分





レバーが上がっていたら下げてください。

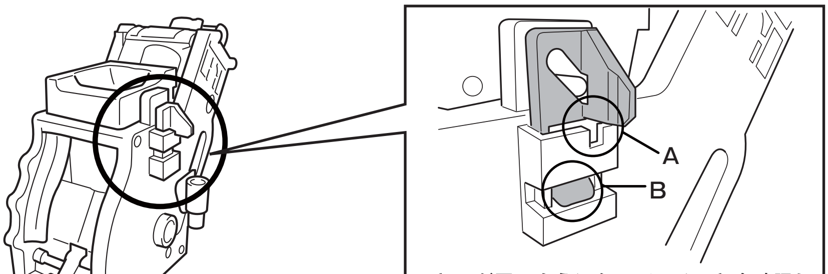
正しい取付状態



レバーが下向きに取付けられています。

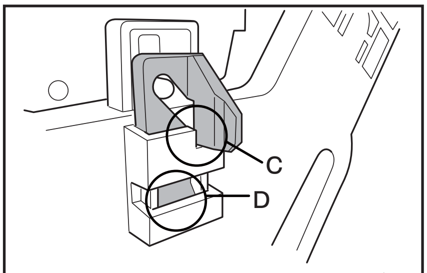
矢印の部品が正しい位置にあることを確認します。
本体から取り出したときにフックの作用により、下部に位置してしまうことがあります。

正しい取付状態

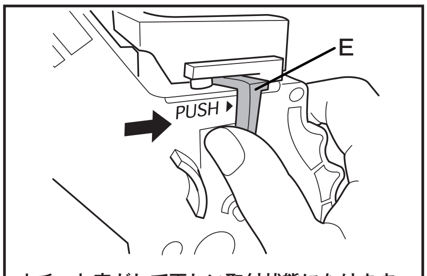


AとB が図のようになっていることを確認してください。

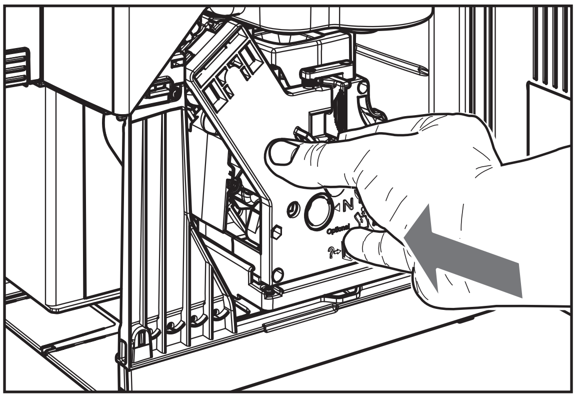
部品が外れている状態



CとD のようになっていたらE の Push ボタンを押してください。



カチッと音がして正しい取付状態になります。



ブルーイングユニットを本体に装着します。
その際、PUSH レバーは押さずに装着します。
ブルーイングユニットがきちんとマシンに装着されると「カチッ」と音がし、引き抜いても外れません。

9 排水トレイ（カス容器含む）を本体にセットし、右サービスドアーを閉めて下さい。

毎月のお手入れ

ブルーイングユニットには定期的にグリースを塗る必要性があります。

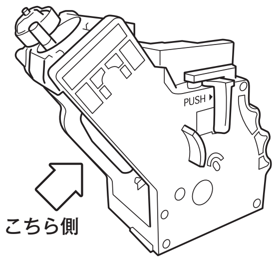
このグリスアップは 500 杯抽出毎又は月に 1 度の実施をして下さい。

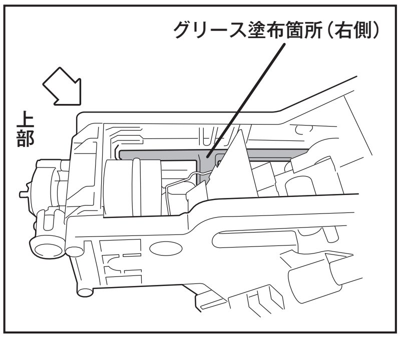
グリスアップをする前にブルーイングユニットの洗浄を実施して下さい。

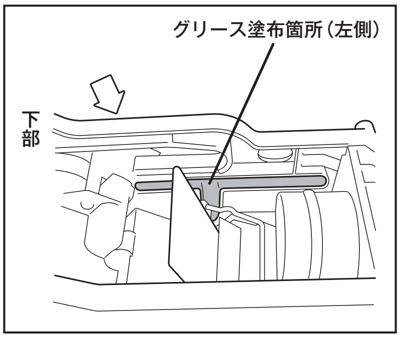
⚠ 長期にわたり塗布が行われない場合、動作不良を起こす恐れがあります。

グリースの塗布は綿棒などを先端を利用すると効率よく作業が出来ます。

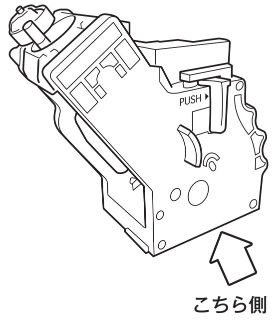
グレーで示す位置にグリスを塗布して下さい。

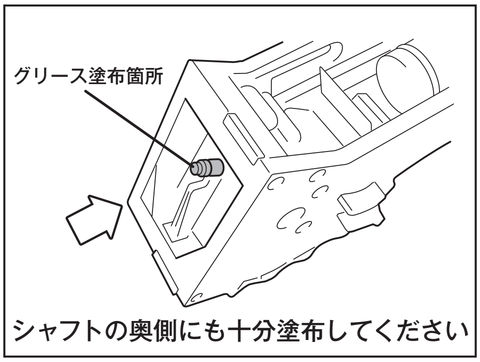


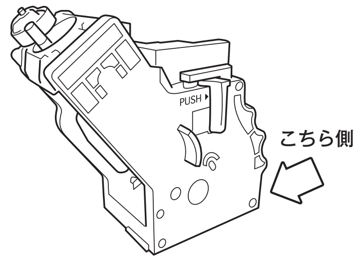


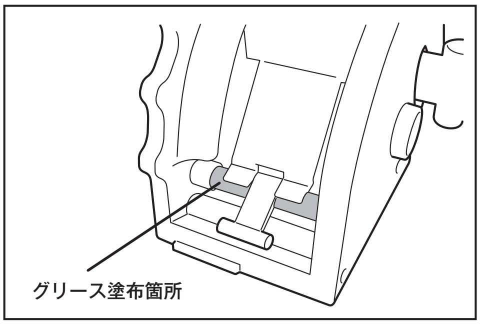


2 矢印で示すシャフトにもグリーシングを実施します。シャフトの奥側にも十分塗布して下さい。









3 ブルーイングユニットをマシン本体に戻し、排水トレイを取り付けサービスドアを閉じます。

ℹ ブルーイングユニットがマシンにきちんとセット出来ない場合は、20ページを参照してください。

6.4 インテンザフィルターの交換

60リッター毎の定期交換となります。交換時期がくると、アイコンで表示されます。

下図（左下）の表示が出るとインテンザフィルターの交換時期を示します。

イエロー表示

イエロー表示

メンテナンスモードに入りRESETを選択し、“☰”OK ボタン(24)を押下して下さい。

インテンザ交換作業は 11ページ 4.12「インテンザ浄水フィルター」を参照して下さい。

３分間何も操作しない場合、自動的にプログラムモードは終了します。

メンテナンスモードの入り方は 31ページ 10.1の項を参照下さい。

6.5 グラインダーの洗浄

グラインダー刃の洗浄は専用クリーナーが必要になります。水は絶対使わないでください。

目安は月１回または 500 杯毎の作業です。グラインダー刃専用洗浄商品、GRINDZ を豆容器に入れ、洗浄を実行します。詳しくは商品に同梱されている説明書をご覧ください。

6.6 除石灰作業

イエロー表示

マシン内部に付着した石灰成分を落とすのはどのエスプレッソマシンにも共通の作業です。

マシンが除石灰作業の警告を表示した際は速やかにこの作業を実施して下さい。

除石灰作業を怠るとマシンの不具合や故障の原因になります。

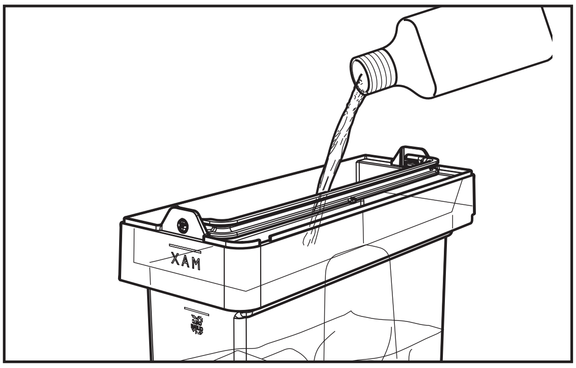
保証期間であっても除石灰作業を実施していない場合は、保証の対象にはなりません。
除石灰作業は必ず専用の除石灰剤　MEL-F2000 を使用して下さい。作業時間：45分

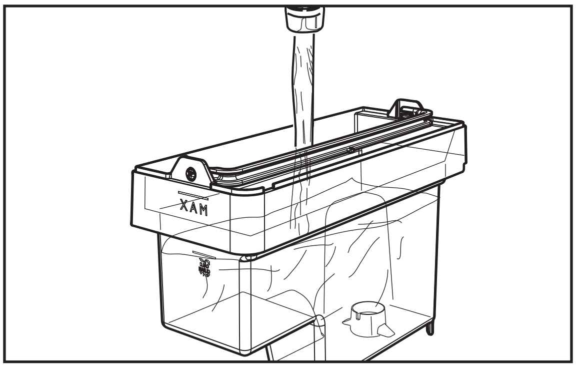
お酢などの使用は絶対にお止め下さい。故障の原因になります。

1 マシンの電源が入っている状態でリンスが完了している事を確認して下さい。
次にパナレロのカバー（シルバー）を取り外して下さい。

水タンクの中にインテンザ（浄水フィルター）を装着している場合は、必ず取り外して下さい。

2 水タンクを取り外しタンク内の水を捨てて下さい。次に除石灰剤 MEL-F2000 1本（180ml）を水タンクに入れて下さい。水タンクの中にインテンザ浄水フィルターを装着している場合は、必ず取り外して下さい。



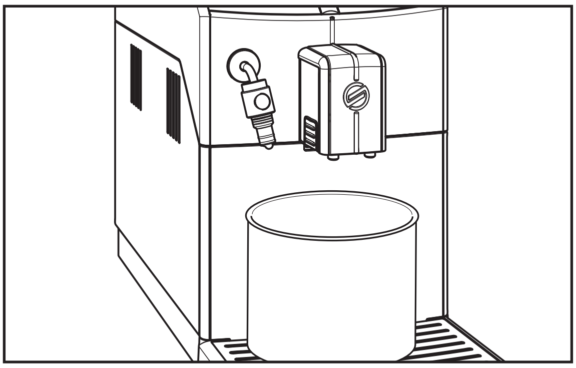


3 "CALC CLEAN" 表示の位置まで新鮮な水を入れて、水タンクをマシンにセットして下さい。

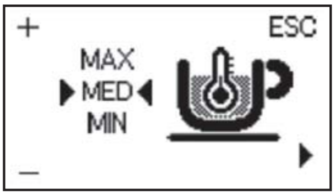
4 排水トレイの排水を捨てマシンに戻して下さい。

> ⚠ **排水は多く溜まりますので、必ず捨てて下さい。**

5 除石灰作業中はスチーム / 給湯パイプとコーヒー抽出口からお湯を排出します。
少なくとも 1.5 リッターの容器をノズルと抽出口の下に置いて下さい。



6 メンテナンスモードに入って下さい。31ページ10.1 の項参照

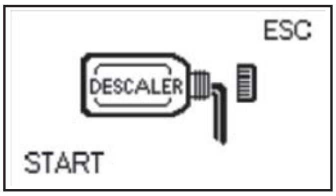


イエロー表示

7 “ ” ボタン（24）にて以下の除石灰のアイコンが表示されるまで押下して下さい。

イエロー表示

8 "" START ボタン(18)を押下して下さい。下図の除石灰サイクルのスタート画面に切り替わります。



イエロー表示

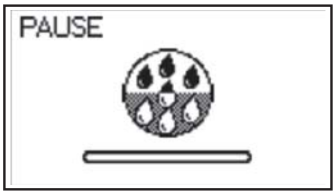
9 “” START ボタン(20)を押下して下さい。下図の除石灰サイクルがスタートします。

“” ESC ボタン(22)を押下すると除石灰サイクルをキャンセル出来ます。

10 除石灰作業中は下記アイコンが表示されます。

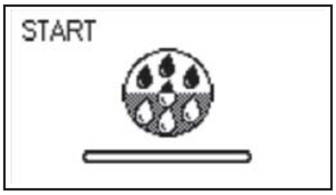
除石灰サイクルが開始されると断続的にノズルと抽出口から交互にお湯を排出します。

作業中



イエロー表示

作業中断



イエロー表示

“” PAUSE ボタン(18)を押下する事により除石灰サイクルを中断する事が出来ます。

再度スタートするには“” START(18)ボタンを押下します。

除石灰サイクルを開始すると、途中で中止することは出来ません。
除石灰サイクルの進捗状況はディスプレイのインディゲータで確認出来ます。

11 水タンク内の除石灰剤がなくなると、下図のアイコンが表示されます。

赤表示

12 水タンクをよく洗浄し、新鮮な水を MAX の位置まで補給してマシンにセットしてください。

下図の表示に切り替わります。

イエロー表示

水タンクに水を MAX 位置まで入れなかった場合、リンスサイクルは３回以上繰り返す場合があります。必ず MAX 位置まで水を補充してください。

13 スチーム給湯パイプと抽出口の下に置いた容器内の水を空にして下さい。

14 排水トレイの排水を捨てマシンに戻して下さい。

満水状態になっておりますので、排水を捨てる際はこぼさないように十分気をつけて下さい。

15 13 の容器を再びノズルと抽出口の下に置いて下さい。
“ ”START ボタン（18）を押下して下さい。マシンはリンスサイクルを開始します。

16 スチーム / 給湯パイプより、継続的に水を排出します。

リンス作業中

イエロー表示

リンス作業中断

イエロー表示

“ ” PAUSE ボタン（18）を押下する事によりリンスサイクルを中断する事が出来ます。
再度スタートするには“ ”STARTボタン（18）を押下します。

17 水タンクの水が空になると下図の表示がされます。水タンクに水をMAXの位置まで補充し 13 からの作業を繰り返して下さい。

赤表示

18 リンスサイクルが完了すると下図の表示に切替ります。

グリーン表示

19 “ ” ESC ボタン（22）を押下して下さい。除石灰サイクルが完了となります。

20 マシンは水回路の充填後、立ち上げを開始し、通常のリンス作業を開始します。
リンスサイクルが完了すると、コーヒー抽出可能画面が表示されます。

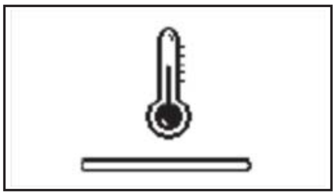
21 排水トレイの排水を捨て、元に戻して下さい。取り外した部品（インテンザ浄水フィルター、パナレロ）を元に戻して下さい。これでコーヒー抽出可能になります。

6.7　メンテナンス一覧表

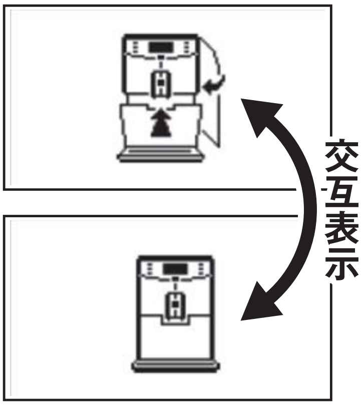
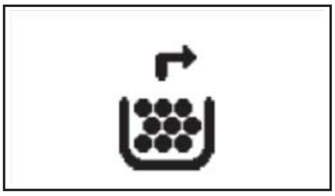
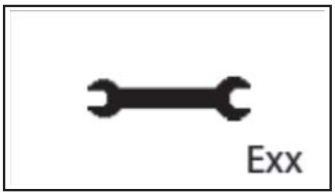
洗浄項目	毎日	毎週	毎月又は500杯抽出時	警告表示時	対象商品
カス容器洗浄	○	●			MEL-F1000
排水トレイ洗浄	○	●			MEL-F1000
ブルーイングユニット洗浄	○				
水タンク洗浄	○	●			MEL-F1000
パナレロ、ミルクフォーマー	○	●			MEL-F1000
浄水フィルター交換				●	インテンザ
ブルーイングユニットグリーシング			●		グリース
グラインダー洗浄			●		グラインズ
除石灰				●	MEL-F2000

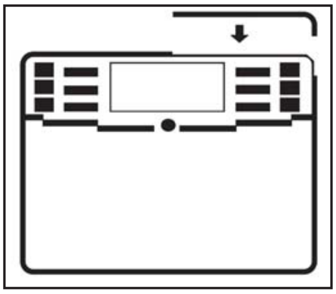
○水洗い　　●メンテナンス品使用

7. マシンの表示内容

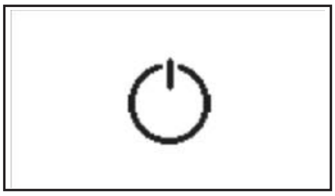
イエロー表示	説明及び対処方法
	ウォームアップ中です。 コーヒー抽出可能画面（グリーン表示）になるまで 暫くお待ち下さい。
	リンス中です。 リンス作業が完了すれば自動的に停止します。
	インテンザ（浄水フィルター）が交換時期に達しました。 新しいインテンザと交換をして下さい。 交換する際はアイコンのリセット作業が必要です。
	コーヒー抽出を中止しました。 このアイコンが消えるまで少しお待ち下さい。
	コーヒー豆がなくなりました。 コーヒー豆を補充してください。
	水回路の充填中です。自動的にこの作業が停止する迄お待ち下さい。 このアイコンが連続して発生する場合、インテンザが劣化している 可能性があります。インテンザの交換を試して下さい。
	（クレジット機能はオプションです） クレジットの残数が”０”になりました。お湯とスチーム機能は 使用可能ですが、コーヒー抽出は出来ません。 管理者にお問い合わせをして下さい。

除石灰時期に達しました。取扱説明書に従い、除石灰作業を行って下さい。
コーヒーの抽出は出来ますが、除石灰を行わずに使用を続けるとマシンにダメージを与え、故障の原因となります。
又、これが原因での故障は保証期間内であっても対象外となります。

赤表示（使用不可）	説明及び対処方法
	排水トレイ、カス容器がマシンにセットされていません。 サービスドアが開いています。 排水トレイ、カス容器、サービスドアをきちんとセットしてください。
	コーヒー豆が不足しています。 マシン動作中にこのレッド画面が表示され、マシンは抽出作業を中止し、イエロー表示の豆補充表示に切り替わります。 対処方法については、イエロー表示の項を参照してください。
	カス容器のコーヒーカスを捨てて下さい。 注意：コーヒーマシンの電源は切らずに作業を行って下さい。 対処方法については、14 ページを参照してください。
	水タンクの水がなくなりました。 水タンクに水を補充して下さい。
	ブルーイングユニットがセットされてません。 ブルーイングユニットを正しくセットして下さい。 ブルーイングユニットの装着方法については 20 ページを参照してください。
	マシンエラー この表示が出たら一旦電源を切り、30秒後に電源を再度入れてください。この作業は時間をおいて3回程度繰り返して下さい。 それでも表示が消えない場合は、エラーコード（Exx の数字）を控え弊社にご連絡ください。



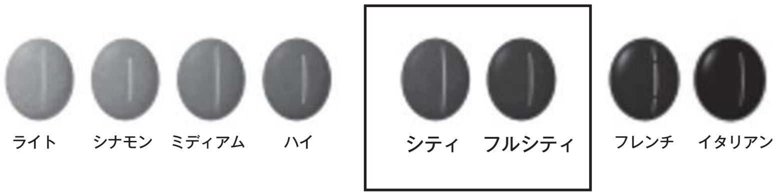
豆容器のふたがセットされていません。マシンに正しくセットして下さい。
グラインダー動作中に豆容器のふたが取り外された場合に表示されます。
動作が中断され、右下に数字（秒）が表示されます。この数字が「0」になる前にふたをマシンにセットすると表示が消え、またグラインダーが動き出します。



スタンバイモード中（節電状態）
“⏻”電源・スタンバイボタン（21）を押下して下さい。
立ち上げ開始し、抽出可能状態になります。

8. 豆に関して

豆は「エスプレッソ用」と指定してください。又、全自動マシンに適した豆のロースト（焙煎）は「シティ、又はフルシティ」の中からお選びください。目安は豆の色がダークチョコレートです。

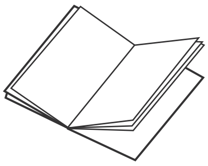


黒っぽいイタリアンやフレンチは不向きです。
ロースト具合が深すぎると豆の表面に豆の油分が現れます。その結果、豆を挽く際に滑りが発生したり豆容器に豆が付着してしまいグラインダーのトラブルになる可能性があります。弊社ではフルシティ、シティの焼き具合を推奨しております。
尚、フレーバーコーヒー等はトラブルの原因となりますのでご使用はお控え下さい。
※豆には油分が含まれています。豆を挽く都度、脂分はグラインダー刃に付着します。
又、コーヒーラインにも付着し、固着します。マシンの不具合、味の悪化につながりますので、定期的なグラインダー刃、ブルーイングユニット、コーヒーラインの洗浄が必要になります。

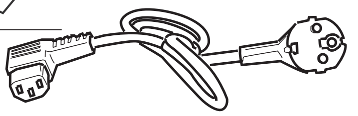
9. メンテナンス品一覧表

9.1 同梱品リスト

1. 本マニュアル

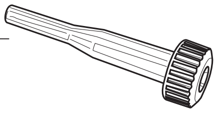


2. 電源コード



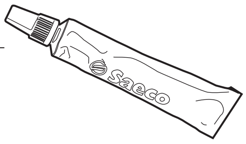
他の電源コードは使用しないで下さい。

3. グラインダー調整キー



コーヒー豆の挽き粗さ調整に使用します。

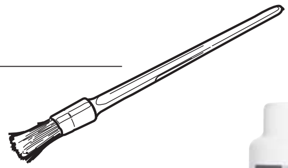
4. グリス



ブルーイングユニットに定期的に塗布します。

塗布の目安：月１回又は 500 杯毎

5. クリーニングブラシ



マシン内部やブルーイングユニットの清掃に使用します。

6. MEL－F2000　除石灰剤 180ml

除石灰（カルキ取り）作業に使用します。

使用頻度：200 リッター又はマシン警告表示毎

9.2 オプション品

7. ブリタ製浄水フィルター、インテンザ

交換の目安：３ヶ月又は 60 リッター毎

8. MEL－F1000 弱アルカリ洗浄液

カス容器、排水トレイ、水タンクの洗浄および、

パナレロや専用ミルクフォーマーのミルクライン洗浄に使用します。

使用頻度：週一回洗浄

使用量：水１リットルにキャップ３～５杯分

9. グラインズ（GRINDZ）グラインダー専用洗浄商品

グランダー刃に固着した豆の油分や異臭などを取り除き

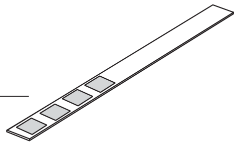
コーヒー本来の味を引き出します。又、豆の挽きが均一になり更に

予期せぬトラブルを未然に防止致します。

使用頻度：月に１度又は 500 杯毎

使用量：キャップ1杯（約 36g）

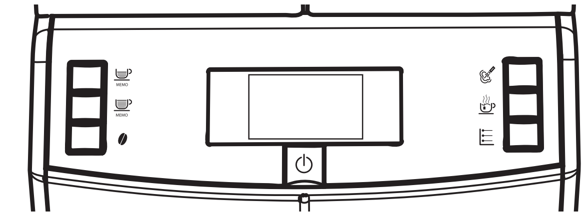
10. 水の硬度測定紙



水の硬度を測定する時に使用します。

10. メンテナンスモード

10.1 メンテナンスモードへのアクセス

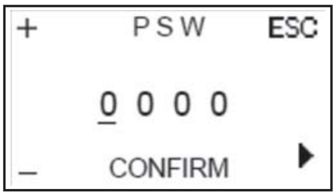


1 マシンのウォームアップが完了している時にプログラムモードにアクセス出来ます。
“ ” ボタン(22)と “ ” ボタン(23)を同時に５秒以上押します。

2 下図の画面が表示されます。

“ ” ボタン(21)を押下します。これでメンテナンスモードに入ります。
パスワード設定をしている場合、毎回パスワード入力画面が表示されます。
設定したパスワードを入力して下さい。

パスワードの入力方法



“ ” ボタン(18)又は “ ” ボタン(20)を押下し設定した数字を入力します。
“ ” ボタン(24)を押下し、次の数字(ナンバー)に移動します。
上記１と２を繰り返し４桁のパスワードを入力します。
“ ” ボタン(21)を押下しパスワード入力を完了します。
画面はメンテナンスモードになります。

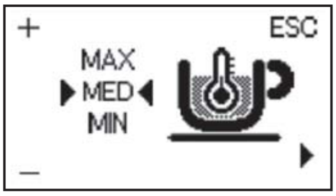
10.2 プログラム設定ボタンと機能

“ ” MEMO	設定変更ボタン(18)	＋方向に設定値の変更が出来ます。
“ ”	設定変更ボタン(20)	ー方向に設定値の変更が出来ます。
“ ”	次ページへ画面移動もしくはOKボタン(24)	1.次のメニューページへ画面移動 2.OKボタン(設定値変更の決定)
“ ”	ESC(取消し)ボタン(22)	1.一つ前に戻る。 2.プログラムモードの終了時に使用します。

10.3 メンテナンスメニュー

マシンの各設定を変更出来ます。(イエロー表示)

３分間何もしない場合、自動的にプログラムモードは終了します。

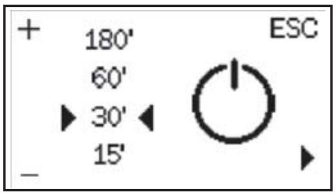


コーヒー温度

コーヒー温度を３段階(MAX, MED, MIN)の調整が出来ます。

MAX…高温　　MED…中温　　MIN…低温

※プログラムモードでも調整ができます。

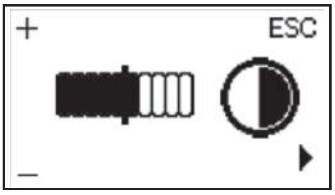


スタンバイ(節電)モード

スタンバイ(節電)になる迄の時間設定が出来ます。

※出荷時は、180分に設定されています。

※プログラムモードでも調整ができます。

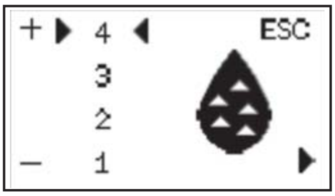


コントラスト

ディスプレイの明暗調整が出来ます。

（＋）…画面が明るくなる

（−）…画面が暗くなる



水の硬度設定

水の硬度設定が４段階で設定出来ます。

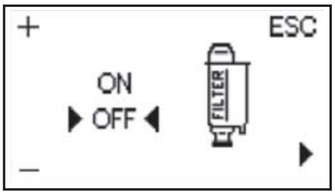
４・・・高硬水

３・・・中硬水

２・・・低硬水

１・・・軟水

※出荷時は１（軟水）に設定されています。



インテンザ浄水フィルターのセット

この機能をONにする事により浄水フィルターの交換時期に達したら右図のアイコンが表示されます。

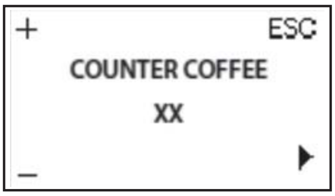
イエロー表示

※出荷時はＯＦＦに設定されています。

除石灰表示

除石灰作業を実行します。

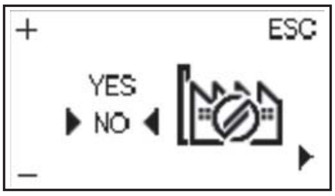
※作業方法は23ページ6.6の項を参照してください。



コーヒーカウンター

コーヒーの累計抽出杯数の確認が出来ます。

※カウンターのリセットや変更はできません。



プログラムの初期化

ＹＥＳにすると、プログラミングした内容を初期化（工場出荷）に戻します。

11. マシンを廃棄する場合

マシンや梱包箱などについているシンボルマークは この製品は家庭用廃棄物として処理出来ない事を示しています。

電気、電子器具のリサイクルの為の適切なごみ集積場に引き渡すことになります。

この製品を正しく廃棄することは、不適切な廃棄処理によりもたらされる環境と人の健康に対する悪影響を防止します。

この製品に対する詳しいリサイクル情報については、地域の行政機関、ごみ処理業者、ご購入の販売店または弊社にお問い合わせをお願いします。

12. トラブルシューティング

No.	症　状	原　因	対処方法
1	電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグを正しく差し込んで下さい
		ブレーカーが落ちている	ブレーカーを立ち上げて下さい
2	ブルーイングユニットが取り外せない	ブルーイングユニットがロックされている	サービスドアーを閉め、電源を入れなおしてください。マシンが自動的に正しい位置に戻します
3	ブルーイングユニットが入らない	ブルーイングユニットがマシンに取り付け可能状態ではない	「ブルーイングユニットをセットする前に確認してください」の項を参照
		マシン側の軸の位置がずれている	ブルーイングユニットをマシンから外した状態で、サイドドアを閉め、カス容器と排水トレイをマシンにセットして電源を入れ直してください。マシンが自動的に正しい位置に戻します。
4	排水トレイがすぐに満水になる	スチームを使用したり、水回路に水を充填またはリンス作業した場合、排水トレイに排水されます。	異常ではありません。
5	（赤表示）が常に表示される	マシンの電源がOFFの時にカスを捨てている	電源が入っている状態でカスを捨てて下さいアイコンが表示してからカス容器をマシンにセットして下さい。 コーヒーの抽出をすると、排水トレイを取り外した際に表示されます。異常ではありません。
6	コーヒー抽出速度が遅い	コーヒー豆の挽き粗さが細かすぎる。豆量が多すぎる。	コーヒー豆挽き粗さ、豆量の調整をして下さい
		マシン内に石灰成分が付着している	除石灰作業を実施して下さい
		ブルーイングユニットが汚れている	ブルーイングユニットを洗浄して下さい
7	コーヒー豆を挽くがコーヒーが抽出されない	ブルーイングユニットが汚れている	ブルーイングユニットを洗浄して下さい
		コーヒー豆の挽き粗さが細かすぎる。豆量が多すぎる。	挽きが粗すぎたり豆量が多すぎると、粉を圧縮出来なくなります。挽き粗さと粉量を調整して下さい
		コーヒー抽出口の詰まり	抽出口と抽出口の清掃をして下さい
8	コーヒー温度が低い	カップが冷えている、もしくは温度設定が正しくない	カップを温めてください。あるいはプログラムモードでコーヒー温度をMAXに設定変更してください
9	コーヒーのクレマが薄い	豆のブレンドの相性が良くない、豆が劣化している、豆の挽き具合が粗い	豆を違う種類に変えてみる（通常、ブレンド数が多いほど上質のクレマになります）、挽き粗さを細かくする
10	コーヒーが薄い	ブルーイングユニットの動きが重いため、マシンが自動調整で豆量を減らした	ブルーイングユニットを洗浄後グリスアップをし、数杯コーヒーを抽出して下さい
11	お湯またはスチームが出ない	スチーム/給湯パイプの先端が詰まっている	パナレロを取り外しスチーム/給湯パイプの先端（穴）をピンのようなもので清掃してください。（マシンが冷えた状態で作業をして下さい）

13. 保証とアフターサービス

保証書

●このサエコエスプレッソマシンには、保証書を別途添付しております。
●保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●このサエコエスプレッソマシンの保証期間はお買い上げいただいた日から１年間です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品を指します。
●本エスプレッソマシンの補修用性能部品保有期間は、製造打ち切り後、５年です。
●保有期間経過後も部品を保有している場合がございますので、お問い合せください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

●ご不明な点や、修理に関するご相談は下記へご連絡ください。
●33ページの記載に従って製品を調べていただき、なお異常がある時は使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてから下記へご連絡ください。

修理のご依頼は

●故障と間違えやすい状況が発生することがございますので、33ページの記載を事前にご確認ください。
また、ご依頼の前に弊社センターへご相談されることをお薦め いたします。
●修理を依頼される際はお手数ですが製品を梱包していただき、下記までご　送付ください。（宅配便利用：お送りいただく際の送料は、お客様のご負担となることをご了承ください）

フジ産業㈱ 三郷センター
TEL：048-949-2888

〒341-0044
埼玉県三郷市戸ヶ崎 1-105

平　　日：AM　9：00～PM 17：30
土　日　祝：AM 10：00～PM 17：00

14. スペックシート

商品名	リリカ･プラス	リリカ･プラス カプチーノ
型番	SUP041E	SUP041C
ジャンコード	8710103679110	4571255390315
電源	100V　50/60HZ	
消費電力	1200W	
本体材料	ABS-熱可塑性樹脂	
サイズ（幅×奥行き×高さ）	215×430×380mm	
重量	7kg	
電源コードの長さ	1.2m	
水タンク容量	2.5ℓ	
豆容量	500g	
豆量設定	6－10g	
コーヒーメニュー登録	2	
コーヒーカス受け容量	15杯	
コントロールパネル	液晶ディスプレイ（3色表示）	
騒音レベル	70dB以下	
ポンプ圧	最大15気圧	
動作条件	温度10～40℃以内	
	湿度95％以下	
安全装置	ボイラー安全弁	
	2重安全サーモスタット	

改良の為、仕様及び性能の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

フジ産業株式会社

三 郷 センター：〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎1丁目105
TEL.048-949-2888 FAX.048-949-4141
本　　　　社：〒104-0041 東京都中央区新富1-6-1
TEL.03-3523-1811（代表） FAX.03-3523-1812
大 阪 営 業 所：〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座1-15-16
TEL.06-6543-7855 FAX.06-6543-7859
www.saeco.jpn.com

意匠、仕様など改良のために予告なく変更することがあります。

2014.10